

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	1	選択
担当教員			
大泉 寛			
B (経営学科)	S (専門科目)	AC (会計)	202 (中級科目)

授業のねらい (概要)	簿記は世界共通の会計言語として重要な意味を持ち、経営学科のディプロマポリシーである経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多面的に理解するために必要不可欠である。そこで講義では演習形式により、企業の商取引の実態を簿記の側面からの確に捉え、適切に会計情報を伝達・開示する企業会計の果たす役割の重要性を理解し、簿記を通じた実際の企業活動を理解した会計実務者を養成することを目的とする。		
授業計画	第1回	現金、現金過不足、当座預金と当座借越、その他の預金について理解する。 予習（時間）：教科書を読んで現金、現金過不足、当座預金と当座借越、その他の預金について復習しましょう。講義では小テストを行って理解度を確認します。（30） 復習（時間）：現金、現金過不足、当座預金と当座借越、その他の預金の処理について復習しましょう。（30）	
	第2回	小口現金の処理について理解する。 予習（時間）：教科書を読んでインプレストとシステムと小口現金出納帳について予習しましょう。（30） 復習（時間）：小口現金出納帳について復習のための提出物を提示します。次回提出して下さい。（30）	
	第3回	商品売買（3分法）の処理と売上帳と仕入帳について理解する。 予習（時間）：教科書を読んで3分法、諸掛・値引き・諸掛と返品、仕入帳と売上帳について予習しましょう。講義では小テストを行って理解度を確認します。（30） 復習（時間）：仕入帳と売上帳の作成について復習しましょう。（30）	
	第4回	商品有高帳について理解する。 予習（時間）：教科書を読んで商品有高帳について予習しましょう。（30） 復習（時間）：商品有高帳の作成について復習のための提出物を提示します。次回提出して下さい。（30）	
	第5回	売掛金と買掛金及び明細表、クレジット売掛金、貸倒損失、貸倒引当金、前払金と前受金について理解する。 予習（時間）：教科書を読んで売掛金、クレジット売掛金と買掛金について予習しましょう。講義では小テストを行って理解度を確認します。（30） 復習（時間）：売掛金などについての仕訳と明細表が出来るように復習しましょう。（30）	
	第6回	その他の債権と債務、資本金（株式会社の設立と株式の発行）と繰越利益剰余金、配当の処理について理解する。 予習（時間）：教科書を読んで債権・債務・資本金（株式会社の設立と株式の発行）と繰越利益剰余金、配当などについて予習しましょう。（30） 復習（時間）：理解が進むように復習のための提出物を提示します。次回提出して下さい。（30）	
	第7回	受取手形と支払手形、電子記録債権と債務の処理について理解する。 予習（時間）：教科書を読んで手形の振出、取立、裏書、割引、電子記録債権と債務などについて予習しましょう。講義では小テストを行って理解度を確認します。（30） 復習（時間）：手形、電子記録債権と債務の処理について復習しましょう。（30）	
	第8回	税金について理解する。 予習（時間）：教科書を読んで税金について予習しましょう。（30） 復習（時間）：税金の処理が出来るように復習のための提出物を提示します。次回提出して下さい。（30）	
	第9回	固定資産と減価償却の処理について理解する。 予習（時間）：教科書を読んで固定資産の処理について予習しましょう。講義では小テストを行って理解度を確認します。（30） 復習（時間）：固定資産や減価償却について復習しましょう。（30）	
	第10回	収益と費用、見越し、繰延べ、消耗品、貯蔵品の処理について理解する。 予習（時間）：教科書を読んで収益と費用、消耗品、貯蔵品の処理について予習しましょう。（30） 復習（時間）：収益と費用、消耗品、貯蔵品の処理について提出物を提示します。次回提出して下さい。（30）	
	第11回	伝票について理解する。 予習（時間）：教科書を読んで3伝票制について予習しましょう。講義では小テストを行って理解度を確認します。（30） 復習（時間）：伝票の処理について復習しましょう。（30）	
	第12回	財務諸表について理解する。 予習（時間）：教科書を読んで財務諸表について予習しましょう。（30） 復習（時間）：財務諸表について復習のための提出物を提示します。次回提出して下さい。（30）	
	第13回	小括その1 決算までの一連の手続きについて理解を深める。 予習（時間）：教科書をもう一度読んで確認してください。講義では小テストを行って理解度を確認します。（30） 復習（時間）：理解できなかったところをもう一度復習して完全なものにしましょう。（30）	
	第14回	小括その2 現金と預金、商品売買、売掛金と買掛金、貸倒、手形、税金、固定資産、減価償却、収益と費用、伝票、財務諸表などの処理について理解を深める。 予習（時間）：教科書をもう一度読んで確認してください。（30）	

	<p>第15回</p> <p>復習（時間）：理解できなかったところをもう一度復習して完全なものにしましょう。復習のための提出物を提示します。次回提出して下さい。（30）</p> <p>まとめ 今までに学修した内容について総合問題で再確認を行い理解を深める。</p> <p>予習（時間）：教科書をもう一度確認して予習しましょう。講義では総合問題を行って理解度を確認します。（30）</p> <p>復習（時間）：テストで理解できなかったところをもう一度復習しましょう。（30）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多面的に理解し、活用できる能力を身に付けることができる。（経営資源の最適配分による経営活動に関する取引を理解し、仕訳、転記、決算、損益計算書・貸借対照表の作成に関する考え方を修得する。）</p> <p>【身に付くスキル】 情報活用能力・職業倫理感</p>
到達目標	<p>①商業簿記の実際取引についての手続きを理解し、その技術を具体的に身につけることができる。</p> <p>②作成した取引データを具体的に伝達し、経営に生かすことができる。</p> <p>③簿記の検定の受験に備えることができる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小テストや課題などの全体的な注意点などは、講義内で解説する。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・商業簿記Ⅰの内容を事前に理解しておく。 ・電卓を持参すること。 ・簿記の検定範囲を網羅しますので受験を奨励します。 ・演習には有識者の話や「租税教室」などで理解を深めます。
成績評価の方法・基準	・学期末に行う「筆記試験」（60%）、講義内に提示した提出物（20%）及び小テスト（20%）で評価します。
教科書	<p>『検定簿記講義3級商業簿記令和2年度版』 ISBN番号：ISBN978-4-502-80563-9 著者名：渡部裕亘・片山覚・北村敬子 出版社：中央経済社 発行年：2019年 価格：700円</p> <p>『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 ISBN番号：ISBN978-4502257018 著者名：渡部裕亘・片山覚・北村敬子 出版社：中央経済社 発行年：2018年 価格：700円</p> <p>『令和2年版 日商簿記検定模擬試験商業簿記3級問題集＋過去問』 ISBN番号：ISBN978-4-7810-5310-3 著者名：ネットスクール 出版社：ネットスクール（株）出版本部 発行年：2019年 価格：800円</p>
参考書・教材	<p>【参考書】特になし</p> <p>【教材】プリント配布</p>
備考	演習科目／実務家教員
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知）